

エコプラザについて市民の声

2016.12月20日

委員 岡田 敬一

緑町・北町・西窪・関前・境の方のグリーンセンター管理事務所をエコプラザ施設として再利用する意見が協議会で出ている案について話し合った。

- 市民の声を要約すると
 - ・ごみ減量・ごみに関する情報・お知らせ等は「市報むさしの」を読んで十分に分かる。
 - ・分別がわかる「武蔵野市ごみアプリ」を検索している。
 - ・エコプラザに関心を持っている市民の人達の場にならないか。
 - ・新グリーンセンターとバランスがよくない。
 - ・市役所に行くことがあっても、グリーンセンターまで足が向かない。
 - ・老若男女を問わず楽しめる施設ならば---
 - ・今の建物より、必要とするなら半分の建物でいいと思う。
 - ・エコプラザは武蔵野市に必要な施設か。

意見

あらゆる面でエコプラザ関係をも発展させるわけですが、作業部会での議論の意識の高さ・その意義は分かります。30年後を見据えた施設にするのであるなら武蔵野市の運営は市民が納める税金が主な「財源」になっている。

税金を「節約」するのでなく「ゆとり」があるうちに「どこへ」どのように使ったらいいかその使い道を決める権利があるが、使い方を決める権限は「議会」に委ねている。

- 人が集まる魅力的な施設にするにしても、礎になる建物も重要な課題である。再利用するか、コンパクトに建て替えるか、作らないか、市民が納得できるよう中間報告についてまだまだ議論が必要かと思えます。

本案内容も検討し、多くの人達が関わってくることで、諸々の課題を集約しないと、数字だけでは「抑制」しなくてはならないになってしまう。